

小学生の部 入選

高山市立東小学校 五年 矢篋原 綺乃

『想像する力を広げて、人の心を豊かにしたい。』私は、本を読み終えると、いつもこう思い、本を書いてみたい気持ちになります。

本には、素敵なエネルギーが入っています。人間は、いつも良いエネルギーが出ている人もいれば、そうでない人もいます。本は、ただそこにあるだけなのに、いつも良いエネルギーを出しているなあ。と私は、感じます。私が、いやな事があって落ち込んでいる時、何か不安がある時。私の感情に、どれだけ差があっても、本は、いつも温かく私の心を照らし、想像力の世界に連れて行ってくれます。

私は、本がとっても大好きで、文章や字を書くのも大好きです。『作家』になる事が私の夢の一つです。作家の心が、本に入り、そのエネルギーが伝わるのだと思います。世界中に数えきれない位、沢山ある本。そして、数えきれない位、多くの人の感情があります。怖い本、涙が出る位悲しい本、あごが痛くなる位笑う事が出来る本、美しい考え方に気が付く本、素敵な世界に引き込まれる本。ものすごく沢山あります。その本一冊、一冊に、書いた人の気持ちが入められている事が、本を読むと伝わってきます。それだけ、人の心を動かせるエネルギーがあり、読んだ人の心を豊かに出来る力と、想像が出来やすくするための言葉の力を使える事に気が付きました。

想像力には、すごい力があります。物語を読みながら、頭の中で想像する。すると、物語の世界が見えてきて、「いつか、その素敵な場所についてみたいなあ。」と、夢が出来ます。そして、「読み終えたい。」と、思う気持ちが出てくるからこそ、夢と、新しい感情、達成感を味わえ、嬉しい気持ちになります。

だから、私自身が毎日、心豊かにくらし、心が動く様な体験を行い、誰も書いた事のない、世界で一つだけの作品を書き、読んだ人に沢山の感動を与えられる作家になりたいです。